令和6年度 文部科学省委託「幼児教育の学び強化事業」

# 園と共に歩む幼児教育アドバイザーのための研修動画

## 第1巻

# 訪問支援の基礎

公益社団法人 全国幼児教育研究協会

# はじめに

## 本研修動画の目的

○ 幼児教育アドバイザーの役割と訪問支援に必要な具体的な支援の方法を知る。

○ 園と共に考えながら、保育の質向上を図るために、自身のキャリアに応じて研鑽する。

## 第１巻の構成

Ⅰ　**幼児教育アドバイザーに期待すること**

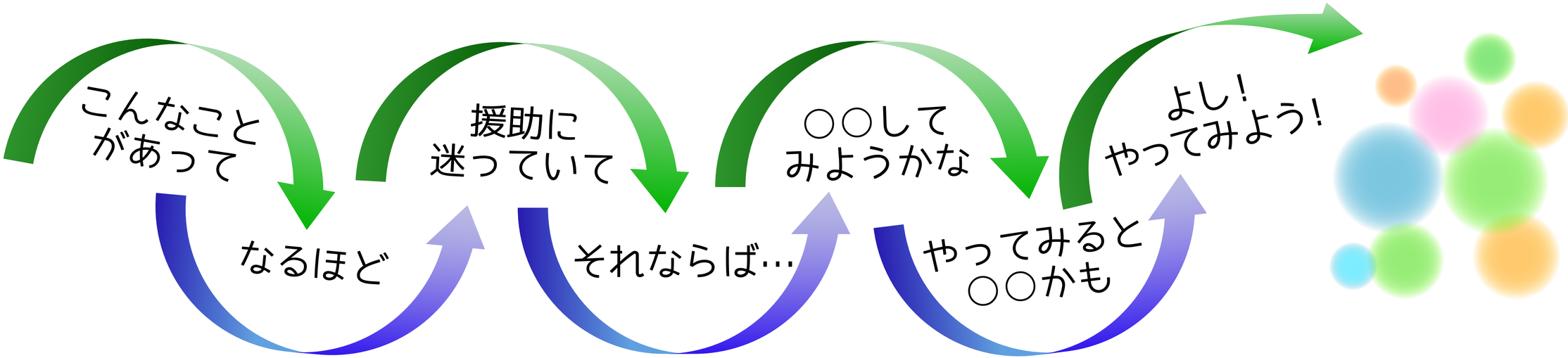
Ⅱ　**訪問支援の流れ**

Ⅲ　**幼児教育アドバイザーとしての資質向上**

# キャリアを生かして新しいステージへ

「保育の質向上につながるヒントや新しい幼児教育の情報を得たい！」
と思っている保育者の思いに寄り添い、実現していくために…

## 園や保育者の意識が変わる「風」は、そっと吹く風




受け止め → 課題の共有 → 具体的な手立ての模索 → 意欲喚起

## 保育者に保育の改善へのヒントとチャレンジを促す風

# Ⅰ 幼児教育アドバイザーに期待すること

1 幼児教育アドバイサーの職務内容

2 幼児教育アドバイサーに求められる専門性

# 質の高い幼児教育を保証するために

- 幼児教育アドバイザーに期待すること
- アドバイスの前提として

多様な園の実態に沿った
支援が望まれる

**幼児教育の質向上を目指す**

**地域や園の実態に応じる**

# Ⅰ-1　幼児教育アドバイザーの職務内容

思いを支える
サポーター

方向性を導く
リーダー

調整する
コーディネーター

発言を促す
ファシリテーター

協働する
コラボレーター

# Ⅰ-2 幼児教育アドバイザーに求められる専門性

幼児教育

アドバイス

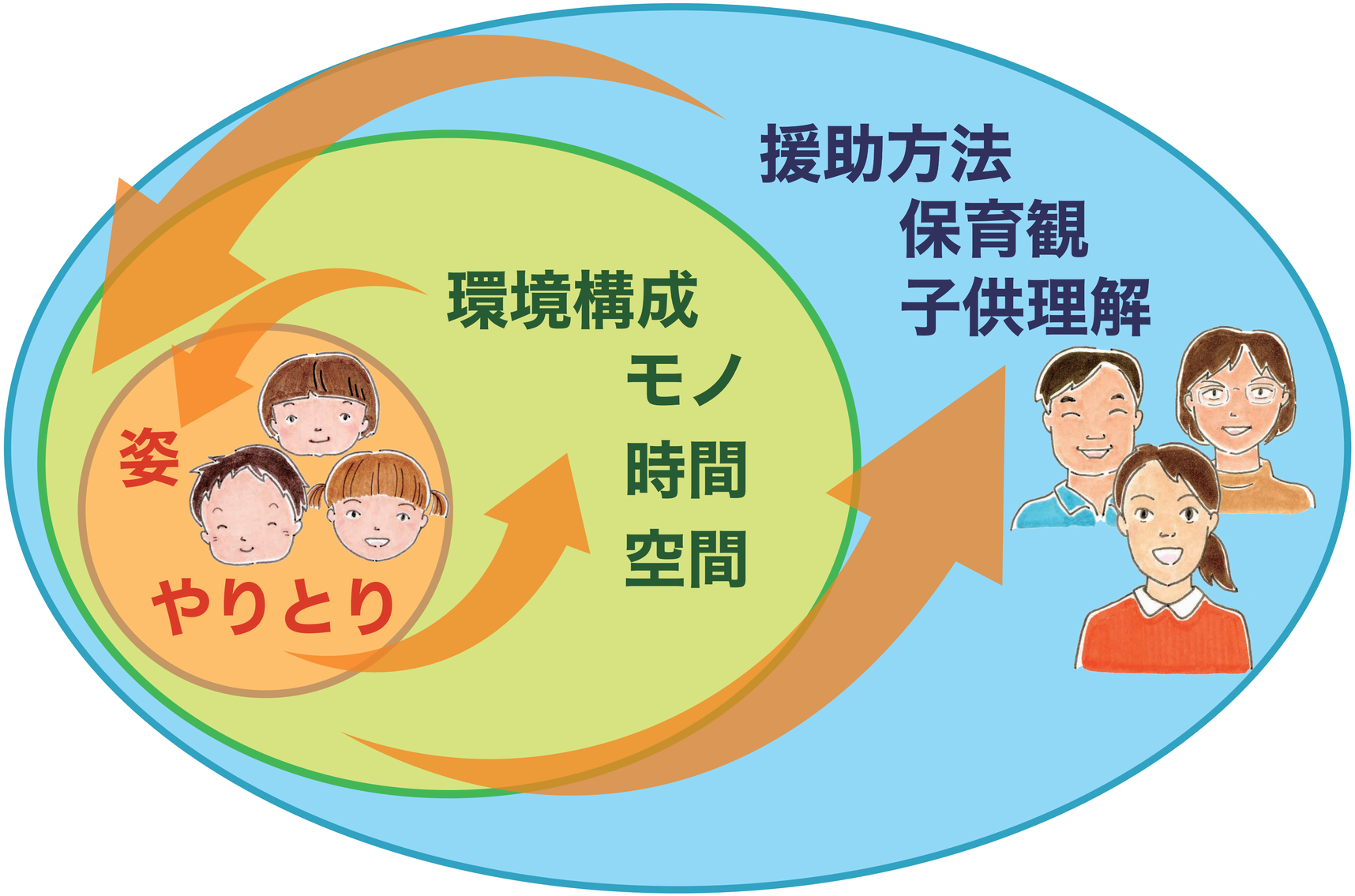
２つの専門性を併せもつ

# 幼児教育に関する専門性を磨く

**幼児教育**

- ３要領・指針の内容をしっかり把握する
- 自発的な遊びの充実に関する具体的なイメージをもつ
- 発達の姿を具体的に細やかに捉える
- 個の多様性、家庭的・文化的背景等を踏まえた支援について学ぶ
- 環境構成の多様な方法やアイデアについて学ぶ
- 指導計画や記録、評価の方法等に関する知識をもつ

# 遊びを３層構造で理解する



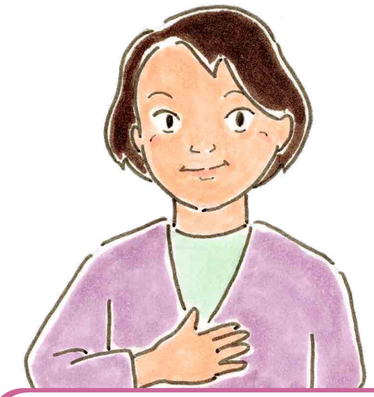
# アドバイスに関する専門性を磨く

## アドバイス

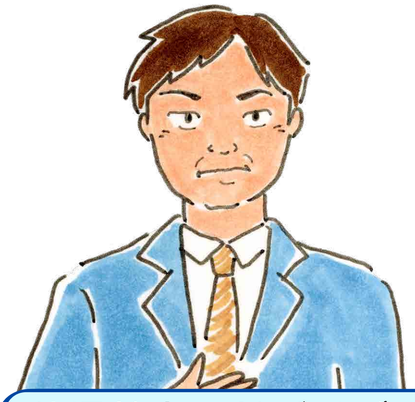
- 保育について考える主体は、園の保育者であることをしっかりと認識する
- 受容的、共感的に話を聴く
- 観察した事例をもとに、何をどこまで誰にどのように伝えるかを判断する
- 明日の実践の具体的な手立てがイメージできるように、例を添えて伝える
- 事後のフォローアップを行う等、長期的な視野をもち、継続的に支援する

# Ⅱ 訪問支援の流れ

～事前準備と保育参観・協議の充実に向けて～

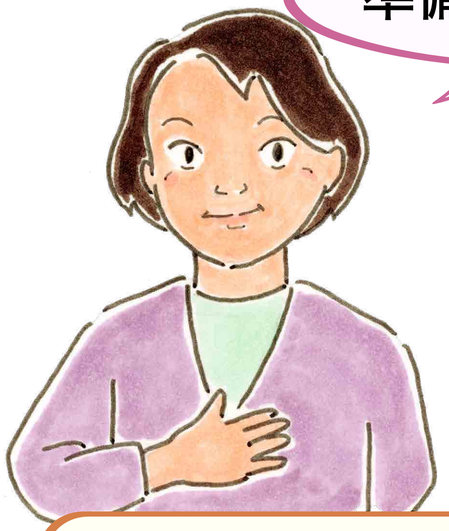


幼児教育アドバイザー



幼児教育アドバイザー
研修講師

# Ⅱ-1 事前準備① ～園からの派遣依頼書を基に～



準備で大切なことは…？

建学の精神、教育目標、
園の規模は？

## 令和○年度 幼児教育アドバイザー派遣依頼書

園名 ○○○○

1 園の概要　クラス数 ○○　０歳児 ○ 名、１歳児 ○ 名、・

2 依頼内容

| 依頼したい分野 | 具体的に知りたい内 |
|---|---|
| □ 子供理解 | ・遊びの中で幼児が経験している |
| □ 乳幼児の発達と援助 | ・○歳児の発達に必要な経験と具体的援助 |
| □ 環境の構成 | ・○歳児の○○コーナーの設定 |
| □ 保育記録の取り方 | ・高め合う園内研修の進め方 |
| □ 指導計画の立て方 | ・指導案の書き方のポイント |
| □ ３要領・指針の解説 | ・公開保育への指導助言 |
| □ 小学校との連携・接続 | ・保護者対応についての研修 |
| □ 保護者対応 | ・個別の支援が必要な A 児への関わり方 |
| □ 特別支援･インクルーシブ保育 | ・研修会で○○についての講話 |
| □ その他 | など |

○○の参考になる
資料や写真を持って
行こうかな。

○○の専門家に、
意見を聞いて
おこうかしら。

園を知るためにホームページ
等で調べ、保育者が学びたい
ことなどを事前に理解して
おきましょう。

# Ⅱ-1　事前準備② ～ Web 上で保育者の思いを尋ねる例も～

園からの依頼書と保育者自身へのアンケートを併用している自治体の例

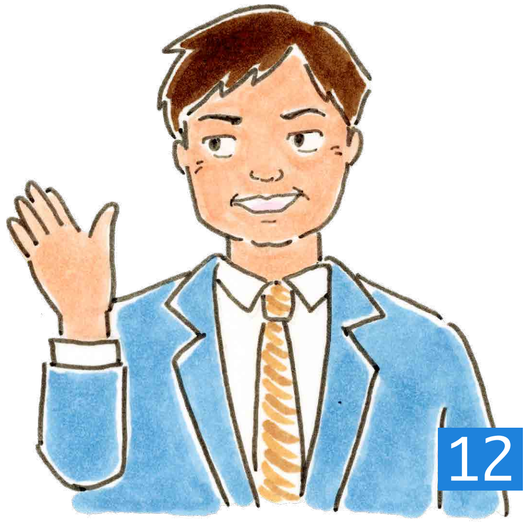
## Web 上のアンケートの内容

アンケート記入者　氏名　　（○年目）　担当クラス（○歳児）

◆ ご自身が課題に感じていることや学びたいこと、伸ばしたいと考えていることを教えてください → **自由記述**

Web の書き込みに慣れている保育者自身の言葉で
思いや悩みを知ることが可能に。

より保育者に寄り添ったアドバイスに。

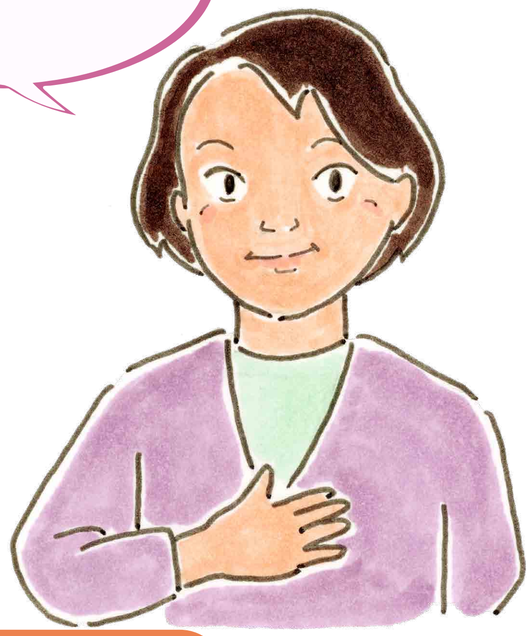


# Ⅱ-2　保育参観の留意点　～関心を寄せて・笑顔で観察～

保育者もドキドキ
しているかも…。

安心して普段通りの
保育をしてもらうには…？

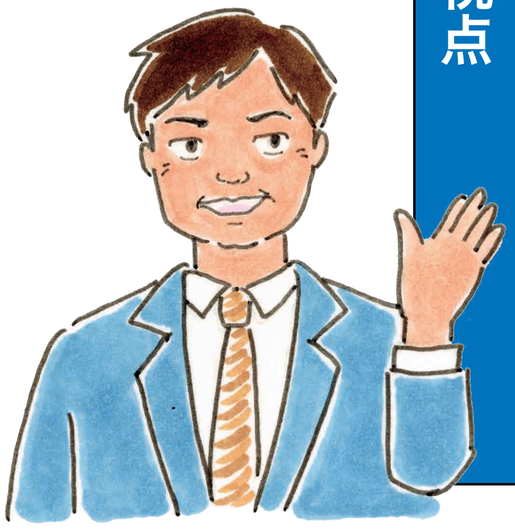
笑顔で！
「面白い遊びをしていますね」等、
関心を寄せて！



★「１日、一緒にいさせてね」という姿勢で観察を！

# Ⅱ-3　保育観察のポイント

| 保育を分析する視点 | 観察する項目 | 観察のポイント |
|---|---|---|
| 子供理解 | 遊びや生活の姿 | 子供の興味・関心の方向性 |
| | | 子供同士の関係性やコミュニケーションの様子 |
| | | 遊びや生活の中での子供の経験（学び） |
| | 年齢や発達の姿 | 0 歳児～ 5 歳児の発達の特徴を捉えた遊び |
| | | 一人一人の発達の特性に応じた具体的な支援 |
| 保育内容 | 活動内容 | 子供が展開している遊びと体験の積み重なり |
| | | 一人一人の遊びと学級全体の活動のつながり、充実 |
| | | 幼保小の接続を意識した交流活動等 |
| | 環境の構成 | 遊びに必要な遊具・用具・素材等の配置と再構成 |
| | | 子供が自ら進める遊びの場づくり |
| | | 自然事象や社会事象等を生かした教材の工夫や状況づくり |
| | 援助 | 一人一人の思いに応じた、発達と学びにつながる援助 |
| | | 集団での遊びを豊かにする援助 |
| 振り返り | 保育の記録 | 記録の取り方とその内容（子供の言動や関わり・エピソード） |
| | 指導と評価 | 子供が経験した内容と保育者の働き掛けとの関連 |
| | 指導計画 | 振り返りで気付いたこと　今後の方向性 |



# Ⅱ-4　園・保育者の課題に応じた観察のポイント

**質問例**　夢中になって遊んでいるようでも、**毎日同じ遊びばかりしていて不安**です。
子供たちのやりたいことだけでなく、**遊びを発展させた方がよいでしょうか**。（５歳児担任）

何を面白がっているのかな？

繰り返しの中にも、変化が見られるかな？

## 観察のポイント

- 繰り返し楽しんでいる場面
- 夢中になっている場面

どのような環境や援助が、子供を夢中にさせているのかな？

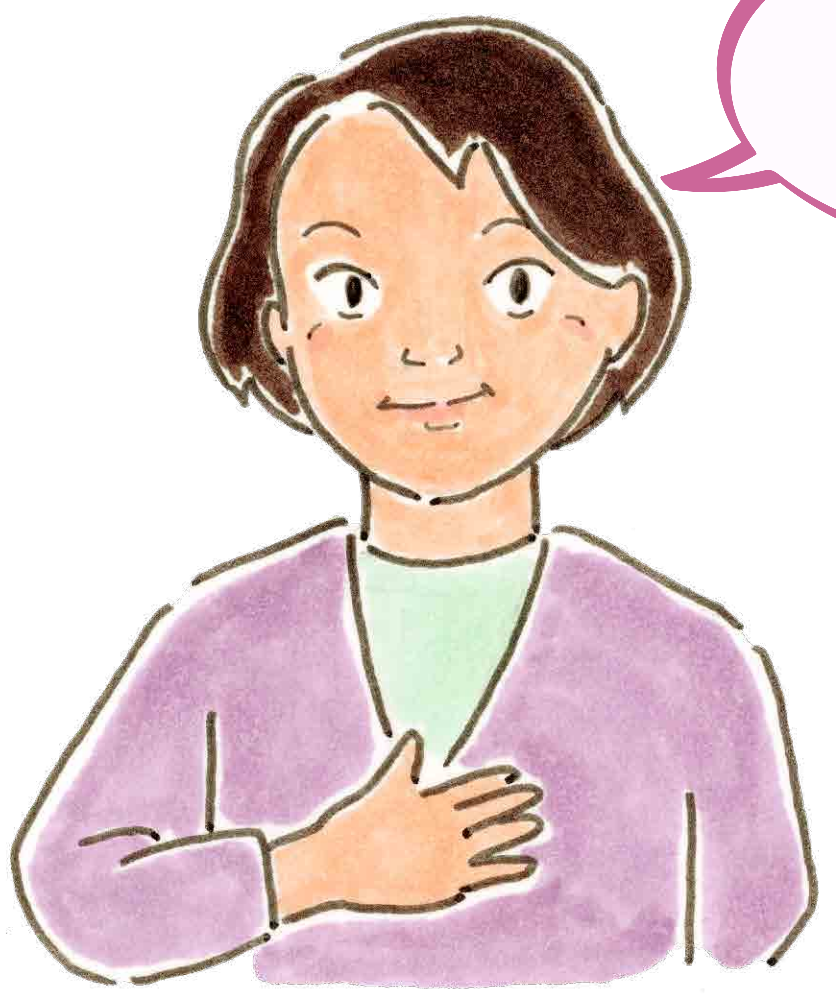
何に困っているのかな？

それしか遊びがないからではなく、いくつかの選択肢の中から自分で選んで繰り返しているのかな？

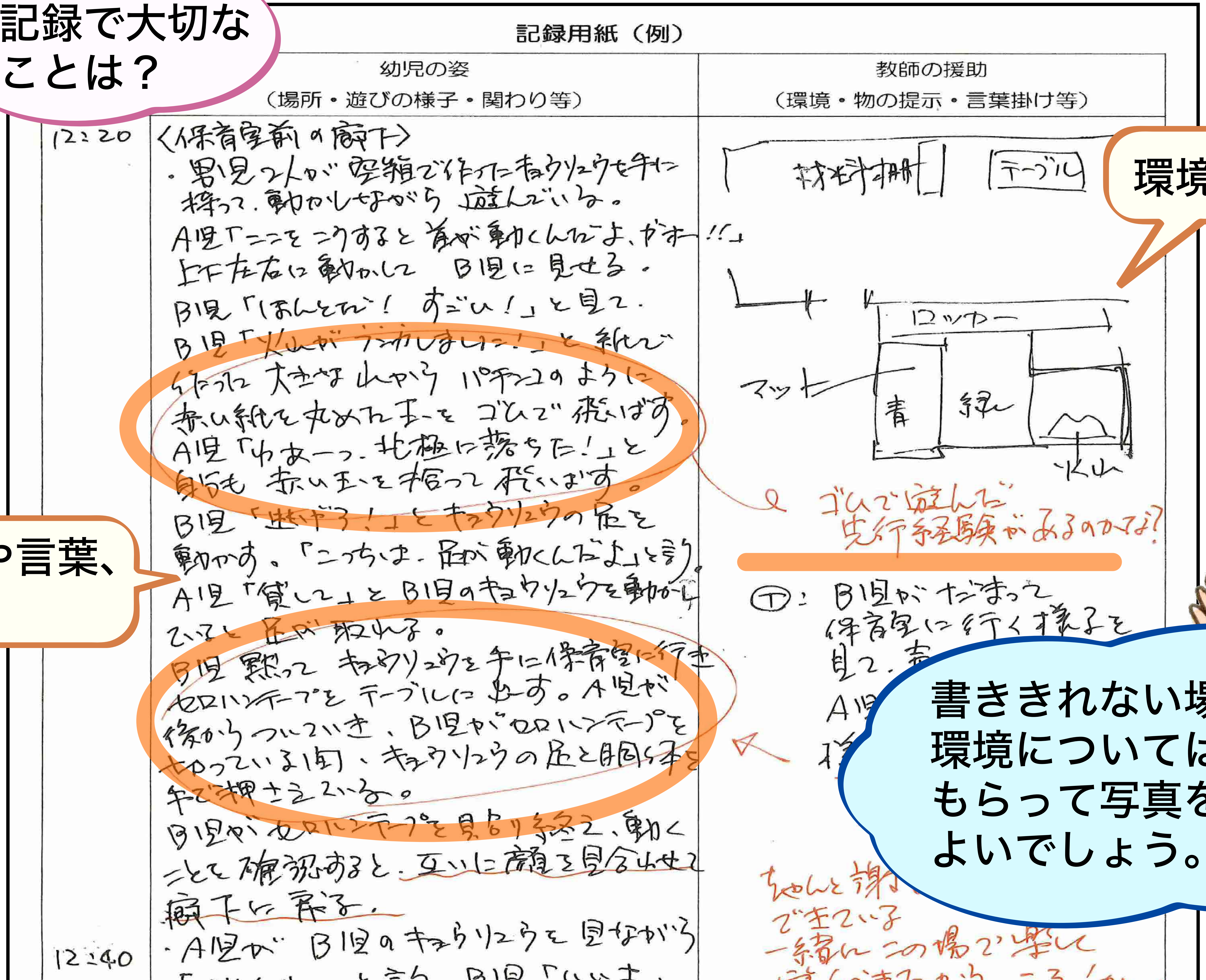
自分なりに試行錯誤をしているかな？

★ 子供同士の関係性も見ておこう

# Ⅱ-5　記録の取り方（記録用紙の例）



記録で大切なことは？



記録用紙（例）

| | 幼児の姿（場所・遊びの様子・関わり等） | 教師の援助（環境・物の提示・言葉掛け等） |
|---|---|---|
| 12:20 | 〈保育室前の廊下〉<br>・男児2人が空箱で作ったキョウリュウを手に持って、動かしながら遊んでいる。<br>A児「ここをこうすると首が動くんだよ、がおー!!」上下左右に動かして B児に見せる。<br>B児「ほんとだ! すごい!」と見て。<br>B児「火山が噴火しました!」と紙で作った大きな山から パチンコのように赤い紙を丸めた玉をゴムで飛ばす。<br>A児「わあーっ、北極に落ちた!」と自分も赤い玉を拾って飛ばす。<br>B児「逃げろ!」とキョウリュウの足を動かす。「こっちは、足が動くんだよ」と言う。<br>A児「貸して」とB児のキョウリュウを動かしていると足が取れる。<br>B児黙ってキョウリュウを手に保育室に行き、セロハンテープをテーブルに出す。A児が後からついていき、B児がセロハンテープを切っている間、キョウリュウの足と胴体を手で押さえている。<br>B児がセロハンテープを貼り終え、動くことを確認すると、互いに顔を見合わせて廊下に戻る。 | 材料棚　テーブル　ロッカー　マット　青　緑　火山<br>ゴムで遊んだ先行経験があるのかな?<br>①: B児がだまって保育室に行く様子を見て、… |
| 12:40 | ・A児が B児のキョウリュウを見ながら… | ちゃんと謝… できている 一緒にこの場で楽しく… |

環境や援助について

子供の動きや言葉、表情など

書ききれない場面や環境については、園の許可をもらって写真を撮ることもよいでしょう。

# Ⅱ-6　写真を使った記録の整理

○年 5月31日　12:20～12:40　3 年保育　5 歳児 ○○組

**保育者の課題**　・毎日同じ遊びばかりしていて不安…もっと発展させた方がよいか…

Ａ児を見て、Ｂ児がゴムを使って紙玉を飛ばす方法を思い付き、２人でイメージを伝え合いながら飛ばしている

保育者が材料棚にさりげなく置いた赤いセロファンを、Ａ児が見付けて、火山が噴火するイメージで使い始めた

Ａ児は、Ｂ児を見て、より遠くへ飛ばそうとしている

**細かい部分の工夫や関係の深まりがある！**

**明日は、２人の要求に応じられるよう、材料を用意しておこう！**

…子供の遊びの様子　…気付きを促したいことや明日につながるアドバイス

# Ⅱ-7　協議の際の留意点

協議で大切なことは？

## 参加者の誰もが発言しやすい雰囲気づくりを！

### 協議の前に

・よさと課題、可能性の整理を！

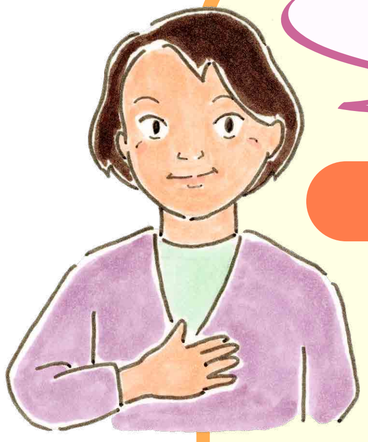
・協議の視点や方法の打合せを！

### 協議を進めるときは

・担当者に任せ、伴走者として！

・協議を焦点化し、方向性を共に探る！

# Ⅱ-8　保育者との振り返りの際の留意点



保育者の緊張を和らげることからですね。

## 一緒に保育を振り返る

**「ここがよかった！」「こうすればよかった…」と思う場面は？**

・そこで子供が学んでいたことは何だろう？
・これから、どのように援助をしていきたいかな？

## 写真等の記録を使って

・「面白い！」と思った場面の写真を一緒に見てみよう！
・保育者の援助と子供の姿（育ち）との関連を探ってみよう！

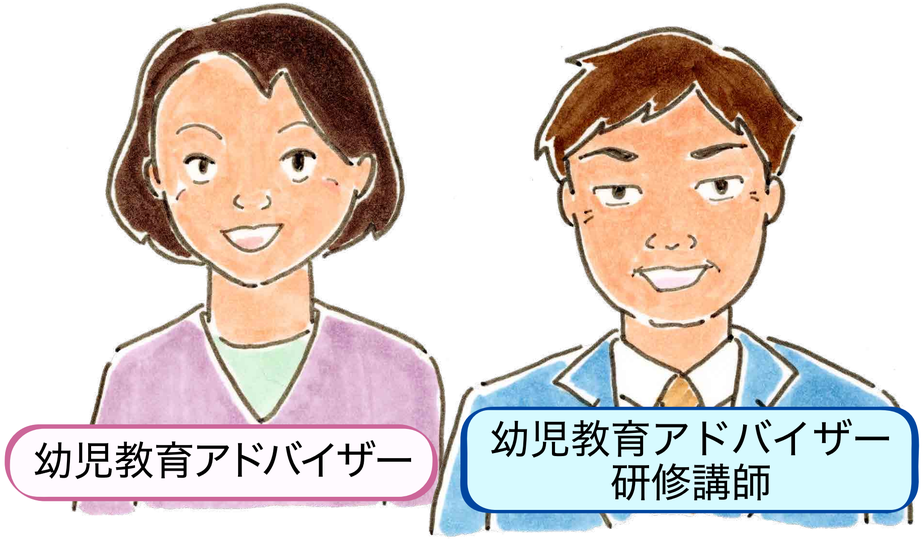
## 明日につながる具体的な援助を

・翌日のねらいや内容、教材や環境の構成などを一緒に考えよう！

このような流れで
進めてみましょう！

# Ⅲ 幼児教育アドバイザーとしての資質向上

～幼児教育アドバイザーの学び合いと情報の収集～



# Ⅲ-1　報告書の作成（記載例）

どのような
アドバイスをしたか。

報告書に
書く内容は？

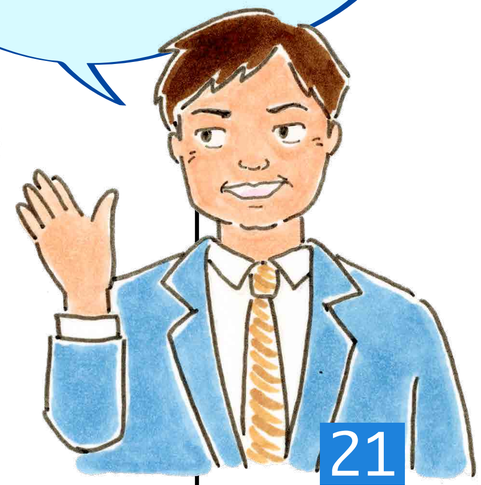
1　訪問園　○○○○○
2　日時　○○年○○月○○日　○○時～○○時
3　参観場面　A 児と B 児が空き箱で作った恐竜で遊んでいる場面

## 4　担任との振り返りの中での助言の内容・成果

**①担任は、遊びの中で子供が経験している内容の読み取りについて迷っていたので、子供の動きを一緒に確認しながら以下の助言をした。**

- 恐竜の世界のイメージを伝え合いながら、より本物らしく表現することを楽しんでいた。（子供の興味・関心、子供同士の関係性）
- ○○を活用し、自分のイメージを実現している。（経験している内容）

保育者が気付いたこと、翌日の保育に向けての成果を記載しましょう。



**②担任からは、今後の保育の充実に向けて以下の発言があった。**

- 助言から、子供が工夫している様子などを丁寧に見て、何を楽しんでいるのかを保育者が感じ取っていくことの大切さに気付いた。
- いつも２人で遊んでいて、関係が固定しているのでは？と心配していたが、伝え合っている内容や様子を見るとよいことが分かった。
- セロファンを出すタイミングを迷ったが、材料棚に置いた援助がよかったと言ってもらって嬉しい。これからも教材研究をしていきたい。

## 5　次回の訪問支援に向けて参考になること

# Ⅲ-2　幼児教育アドバイザー同士の学び合い

２回目の派遣依頼で、行ってみたら前回のアドバイスが生かされていて、嬉しかった！

事後アンケートに、○○と書いてあって…。話したことが「伝わった」と思っていたので、ショック…。

気負わず、一緒に考えることが大事！ ですね！

○○の助言について、誰か教えてくれないかしら…

課題解決につながった○○先生のアドバイス、どうやったのか詳しく教えて！

…、どのように助言すればよかったか、皆で考えてみよう。

**学び合いが やりがいと力量 UP につながっています！**

# Ⅲ-3　情報の収集と共有

## 文部科学省

- ◆ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を架け橋プログラムで活用するために
- ◆ 遊びは学び 学びは遊び “やってみたいが学びの芽” ～「やってみたい」から始まる学びの芽（知識・技能や思考力等の基礎、学びに向かう力）の育成～
- ◆ 幼児期の運動に関する指導参考資料［ガイドブック］第１集
- ◆ 外国人幼児等の受け入れに関する研修
- ◆ インクルーシブな保育（国立特別支援教育総合研究所）

## こども家庭庁

- ◆ こどもたちの幸せのために こども基本法
- ◆ 子どもを中心に保育の実践を考える～保育所保育指針に基づく保育の質向上に向けた 実践事例集～
- ◆ こどもの命を守るために

※それぞれの資料は、タイトルを検索等してご覧ください。

# おわりに

- 園と共に歩む姿勢を大切に！
- 明日の保育が楽しみになるようなアドバイスを！
- 仲間と共に切磋琢磨し合って！

**公益社団法人 全国幼児教育研究協会**
**e-mail : admin@zenyoken.org**

本研修動画及びスライド画面資料は、文部科学省の「幼児教育の学び強化事業」の委託費による委託業務として、公益社団法人 全国幼児教育研究協会が実施した令和６年度の調査研究の成果を取りまとめたものです。

したがって、本研修動画及びスライド画面資料の複製、転載、引用等には文部科学省の承諾が必要です。